独	\bigcirc	0
律第六十号)	出入国管理	出入国管理
(附則第六条関係	及び難民認定法及	及び難民認定法(
(附則第六条関係)	出入国管理及び難民認定法及び外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保証	出入国管理及び難民認定法(昭和二十六年政令第三百十九号)(附則第五条関係)
	施及び技能実習生の保護	
	護に関する法律の一部を	
6	護に関する法律の一部を改正する法律(令和六年法	1

 \bigcirc 出入国管理及び難民認定法 (昭和二十六年政令第三百十九号) (附則第五条関係)

(現行規定は、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律 (令和四年法律第六十八号) による改正後の規定)

(傍線の部分は改正部分)

いないもの	受けた者で、その後出国して本邦外にある間にその判決が確定
外にある間にその判決が確定し、確定の日から五年を経過して	号)第二十二条の罪により拘禁刑に処する判決の宣告を
拘禁刑に処する判決の宣告を受けた者で、その後出国して本邦	特定金属製物品の処分の防止等に関する法律(令和七年法律第
五年法律第八十六号)第二条若しくは第六条第一項の罪により	年法律第八十六号)第二条若しくは第六条第一項の罪又は盗難
転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律(平成二十	により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律(平成二十五
律第六十五号)第十五条若しくは第十六条の罪又は自動車の運	律第六十五号)第十五条若しくは第十六条の罪、自動車の運転
罪、特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律(平成十五年法	罪、特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律(平成十五年法
盗犯等の防止及び処分に関する法律(昭和五年法律第九号)の	盗犯等の防止及び処分に関する法律(昭和五年法律第九号)の
二百二十二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。)の罪、	二百二十二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。)の罪、
	律第六十号)第一条、第一条ノ二若しくは第一条ノ三(刑法第
第三十九章の罪、暴力行為等処罰に関する法律(大正十五年法	第三十九章の罪、暴力行為等処罰に関する法律(大正十五年法
、第三十一章、第三十三章、第三十六章、第三十七章若しくは	、第三十一章、第三十三章、第三十六章、第三十七章若しくは
六章から第十九章まで、第二十三章、第二十六章、第二十七章	六章から第十九章まで、第二十三章、第二十六章、第二十七章
間に刑法(明治四十年法律第四十五号)第二編第十二章、第十	間に刑法(明治四十年法律第四十五号)第二編第十二章、第十
九の二 別表第一の上欄の在留資格をもつて本邦に在留している	九の二 別表第一の上欄の在留資格をもつて本邦に在留している
一~九 (略)	一~九 (略)
ことができない。	ことができない。
第五条 次の各号のいずれかに該当する外国人は、本邦に上陸する	第五条 次の各号のいずれかに該当する外国人は、本邦に上陸する
(上陸の拒否)	(上陸の拒否)
現行	改 正 案

し、確定の日から五年を経過していないもの

2 (略) (略)

(退去強制)

できる。
条の二第一項の規定による命令により本邦から退去させることが章に規定する手続により本邦からの退去を強制し、又は第五十五第二十四条 次の各号のいずれかに該当する外国人については、次

一~四 (略)

兀 。 一 等に関する法律第十五条若しくは第十六条の罪、 二十六章、 第二編第十二章、 により人を死傷させる行為等の処罰 十二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。)の罪、 る法律第一条、 第六条第 第三十七章若しくは第三十九章の罪、暴力行為等処罰に関す 『止及び処分に関する法律の罪、 別表第一 第二十七章、 項 第一条ノ二若しくは第一条ノ三(刑法第二百二 0 の上欄の在留資格をもつて在留する者で、 第十六章から第十九章まで、第二十三章、第 罪 又 は 第三十一章、第三十三章、第三十六章 盗 難 特 定 金 属製 特殊開錠用具の所持の に 関 **松物品** する法律第二条若 \mathcal{O} 処 自動 分の 防 車 盗 0) 止 刑法 等に 禁止 犯等 運転

四の三~十 (略)

する法律第二十二

一条の

罪により拘禁刑に処せられたもの

(出国命令)

十~十四(略)

2 (略)

(退去強制)

できる。

・できる。

一~四 (略)

兀 の防 の 二 等に関する法律第十五条若しくは第十六条の罪又は自動 二十六章、 第二編第十二章、 くは第六条第一 転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律第二条若 十二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。 る法律第一条、 第三十七章若しくは第三十九章の罪、暴力行為等処罰に関 止及び処分に関する法律の罪、 別表第一 第二十七章、 項の罪により 第一条ノ二若しくは第一条ノ三(刑法第二百 の上欄の 第十六章から第十九章まで、第二十三章、第 第三十一章、 在留資格をもつて在留する者で、 拘禁刑に処 特 第三十三章、第三十六 殊開錠用具の所持 せられたもの)の罪、 の禁止 盗犯 刑 \mathcal{O} 運

四の三~十(略)

(出国命令)

第二十四 の三に規定する手続により、 同 該当するもの 第七号までの 条の 規定にかか 条の三 11 (以 下 第二十四条第二号の四 ず わら れ カュ 出 ず、 に該当する外国人で次の各号の 玉 次章第 「命令対象者」という。) 出国を命ずるものとする。 節から第三節まで及び 第四号ロ又は第六号から に つい 1 ず ては、 第五 ħ にも 章

·二 (略)

属製物品 十六条の 第一条ノ三(刑法第二百二十二条又は第二百六十一条に係 九 分を除く。) 章まで、 本邦に入つた後に、 刑 関 殊開錠用具の所持の 第三十三章、 暴力行為等処罰に関する法律第一条、 に処せら する法律 罪、 \mathcal{O} 第二十三章、 処 の 罪、 自 分の れ 第二条若 第三十六章、 たもの 動 車の 防 盗犯等の防止及び処分に関する法律の 止 刑法第二編第十二章、 でないこと。 等 運転により人を死傷させる行為等の 禁止等に関する法律第十五条若し しくは第六条第 第二十六章、 に関 第三十七章若しくは第三十九 する法 律 第二十七章、 第 項 第一条ノ二若しくは 一十二条の罪に \mathcal{O} 第十六章から 罪又は盗難 第三十一 こくは第 より 特 定金 罪、 第十 る 章 処 章 部 拘 罰 \mathcal{O}

四・五 (略)

(在留資格に係る許可)

第六十一 た外国人が在留資格未取得外国人 許可を受けた者で当該許可 \mathcal{O} 者 0 |留資格をもつて本邦に 認定をする場合であつて、 条の二の二 法務大臣 在留 書に記載された期間を経過してい は、 前 する者、 条第一 難民 (別表第 0) 項又は第二項 認定又は補完的 時庇護のための 一又は別表第二 0 申 保 \mathcal{O} 請 護 上 対象 上欄 ない 陸 をし \mathcal{O}

> 第二十 の三に規定する手続により、 同 該当するもの 第七号までの 条の規定にかかわらず、 匝 条の三 いず (以 下 第二十四条第二号の四、 れ かに該当する外国 出 玉 次章第 命令対象者」という。 出国を命ずるものとする。 節から第三節まで及び 人で次の各号の 第 匹 号口 又は第六号 につい ず ては、 第五 れ にも カゝ 5

·二 (略)

三本邦に入つた後に、 罪、 に処せられたものでないこと。 十六条の罪又は自動車の 第一条ノ三(刑法第二百二 九章まで、 罰 特 分を除く。) に関 殊開錠用具の所持の禁止 第三十三章、 暴力行為等処罰に関する法律第一条、 はする法律第二条若しくは第六条第 第二十三章、 の 罪、 第三十六章、 盗犯等の防止及び処分に関する法律の罪、 刑法第二 第二十六章、 運転により人を死傷させる行為等 等に関する法律第十五条若しくは 十二条又は第二百六十一条に係る 第三十七章若しくは第三十九章 編第十二章、 第二十七章、 第一条ノ二若しくは 項 第十六章から第 0 罪により拘 第三十一章 禁 \mathcal{O} 刑 第 処

四・五 (略)

(在留資格に係る許可)

第六十一条の二の二 た外国 許可を受けた者で当該許可書に記載され \mathcal{O} 者 在 の認定をする場合であつて、 留 資格をもつて本邦 人が在留資格未取得 法務大臣は、 に 外国人 在留する者、 前 条第 難民 (別表第一又は別表第二の の認定又は補完的 項 た期間を経過してい 時 又は第二項の申請 庇ひ 護 **の** ための上 保 護対 をし 陸 な 上 欄 \mathcal{O}

ŧ 合を除き、 Ō 及び 該在留資格 特別 その者に定住者の 永住 未 取 者 得 以 外国 外の 者をいう。 人が次の各号のいずれかに該当する場 在留資格の取得を許可するものとす 以下同じ。) であるときは

(略)

る。

罪、 禁 九 に + 特殊開錠用具の所持の 分を除く。 第一条ノ三(刑法第二百二十二条又は第二百六十一条に係る部 製製 刑に処せられたものであるとき。 関する法律 六条の罪、 章まで、 第三十三章、 本邦に入つた後に、 公物 品 暴力行為等処罰に関する法律第一条、 \mathcal{O} 第二十三章、 処分 0) 自 第二条若しくは第六条第 罪、 第三十六章、 0 動 車 防 0 盗犯等の防止及び処分に関する法律 止 刑法第二編第十二章、 等に関する法 運転により人を死傷させる行為等 禁止等に関する法律第十五条若しくは第 第二十六章、 第三十七章若しくは第三十九 律 第二十七章、 第 一項の罪又は盗難 第一条ノ二若しくは 一 十 二 第十六章から 一条の罪 第三十一章 特定金 0 0) 罪、 第十 章 ŋ 処 罰 拘

(仮滞在の許可

2

4

略

第六十一 \mathcal{O} 格 十一条の二 者に仮に本邦に滞 未取得外国 条の二の四 |第一項又は 人が次の各号の 在することを許可するものとする。 法 第二項の申請 務大臣は、 ずれかに該当する場合を除 在留資格未取得外国 があつたときは、 当 一人から: 該 在留資 き、 第六 そ

~七 (略)

八 本邦に入つた後に、刑法第二編第十二章、第十六章から第十

もの及び 合を除き、 当 該在留資格未取得外 特別永住者以外の その者に定住者の 玉 人が次の各号の 者をいう。 在留資格の取得を許可するものとす 以下 同じ。 1 ず れかに該当する場) であるときは

(略)

る。

罪、 特殊開 第一条ノ三(刑法第二百二十二条又は第二百六十一条に係る部 九章まで、 に 罰に関する法律第二条若しくは第六条第 十六条の 分を除く。 処 第三十三章、 本邦に入つた後に、 暴力行為等処罰に関する法律第一条、 せられたものであるとき . 錠用具の所持の禁止等に関する法律第十五条若しくは第 罪又は自動 第二十三章、 の罪、 第三十六章、 車 盗 刑法第二編第十二章、 \mathcal{O} 犯等の防止及び処分に関する法律 第二十六章、 運 一転により人を死傷させる行為等 第三十七章若しくは第三十九章 第二十七章、 第一条ノ二若しくは 項 Ó 第十六章から第 罪により拘禁刑 第三十一章 · の 罪、 0) 処 0

2~4 (略)

(仮滞在の許可)

第六十一条の二の \mathcal{O} 格 十一条の二第一項 者に仮に本邦に滞在することを許可するものとする。 未取得外国人が次の各号の 厄 又は第二項の 法務大臣 には、 1 申 ずれかに該当する場合を除 在留資: 請 があつたときは 格 未取得外国 当該 人か き、 ら第六 在 留

一~七 (略

八 本邦に入つた後に、刑法第二編第十二章、第十六章から第十

大章まで、第二十三章、第二十六章、第二十二章の 、第三十三章、第三十六章、第二十二条の罪により拘 が表別に関する法律第一条、第一条ノニギル章の に関する法律第二条で、第三十二章の 大条の罪、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰 に関する法律第二条子しくは第二百六十一条に係る部 大条の罪、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰 に関する法律第二条若しくは第 一次条の罪、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰 に関する法律第二条若しくは第三十九章の 禁刑に処せられたものであるとき。

2~5 (略)

九 • 十

(略)

に処せられたものであるとき。 九章まで、第二十三章、第二十六章、第二十七章、第三十一章 大を除く。)の罪、盗犯等の防止及び処分に関する法律の罪、 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第一条、第一条ノニ(刑法第二百二十二条又は第二百六十一条に係る部 特殊開錠用具の所持の禁止等に関する法律第十五条若しくは第 十六条の罪又は自動車の運転により人を死傷させる行為等の処 十六条の罪又は自動車の運転により人を死傷させる行為等の処 に処せられたものであるとき。

2~5 (略)

 \bigcirc 出入国管理及び難民認定法及び外国 人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の一

部を改正する法律

(令和六年法律

傍

線の部分は改正

一部分)

第六十号)(附則第六条関係)

改 正 案 現 行

(出入国管理及び難民認定法の一部改正)

号)の一部を次のように改正する。 第一条 出入国管理及び難民認定法 (昭和二十六年政令第三百十九

(田)

一号とし、第八号を第十号とし、第七号の次に次の二号を加える第二十二条の四第一項中第十号を第十二号とし、第九号を第十

八 (略)

九

二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。)の罪、 防 律第一条、 十七章若しくは第三十九章の罪、暴力行為等処罰に関する法 若しくは第六条第 運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律第二条 止 0 『止等に関する法律第二十二条の罪により拘禁刑に処せられ 等に関する法律第十五条若しくは第十六条の罪、 防止及び処分に関する法律の罪、 第二十七章、 永住者の在留資格をもつて在留する者が、刑法第二編第十 第十六章から第十九章まで、第二十三章、第二十六章 第一条ノ二若しくは第一条ノ三(刑法第二百二十 第三十一章、第三十三章、第三十六章、第三 項 罪又は盗難 特殊開錠用具の所持の 特定金属製物品 自動 の処分の 盗犯等 車 禁 \mathcal{O}

(出入国管理及び難民認定法の一部改正)

号)の一部を次のように改正する。 第一条 出入国管理及び難民認定法 (昭和二十六年政令第三百十九

略)

一号とし、第八号を第十号とし、第七号の次に次の二号を加える第二十二条の四第一項中第十号を第十二号とし、第九号を第十

八 (略)

九 二条又は第二百六十一条に係る部分を除く。) 二章、第十六章から第十九章まで、 条若しくは第六条第 止 の防止及び処分に関する法律の罪、 律第一条、 十七章若しくは第三十九章の罪、 \mathcal{O} 等に関する法律第十五条若しくは第十六条の罪又は 運転により人を死傷させる行為等 第二十七章、 永住者の在留資格をもつて在留する者が、刑法第二編第十 第一条ノ二若しくは第一条ノ三(刑法第二百二十 第三十一章、 項 0 罪により拘 第三十三章、第三十六章、第三 暴力行為等処罰に関する法 第二十三章、第二十六章 特殊開錠用具の所持の禁 の処罰に関する法律第二 禁刑に処せられたこと の罪、 盗犯等 自動 車